2026 年 3 月 期
決 算 説 明 資 料

金沢信用金庫

【 目　　次 】

2026年3月期決算の概況

1.総括 …… 1

(1)損益の概要

(2)自己資本比率(国内基準)

(3)金融再生法開示債権

2.損益状況 …… 2

3.預金・貸出金等 …… 3

(1)預金・貸出金 （末残 ）

(2)預り資産 （末残 ）

4.有価証券の評価損益 …… 3

5.自己資本比率(国内基準) …… 4

6.開示不良債権 …… 4

(1)金融再生法開示債権

(2)金融再生法開示債権の保全状況

7.2027年3月期業績予想 …… 5

２０２６年3月期　　決 算 の 概 況　　２０２６年6月１２日

信用金庫名　　金沢信用金庫（理事長　広岡　克憲）
本店所在地　　金沢市南町１番１号
問合わせ先　　責任者役職名　　理事・総合企画部長
　　氏　　名　　津田　一志　　ＴＥＬ（０７６）２３１－０１４７

通常総代会開催日　　２０２６年6月２５日

１．２０２６年3月期の業績（２０２５年4月１日～２０２６年3月３１日）

（１）経営成績

（注）記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

	経 常 収 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益
	百万円　(%)	百万円　(%)	百万円　(%)
2026 年３月期	８，１５７（△１７.４）	６４７（ ３.５）	８１６（１４.９）
2025 年３月期	９，８８４（ ４５.８）	６２５（△２.９）	７０９（６１.９）

	貸 出 金 残 高	預 金 残 高
	百万円　(%)	百万円　(%)
2026 年３月期	１７９，０５１（△４.７）	４８２，２２８（△０.６）
2025 年３月期	１８７，９０９（ ３.１）	４８５，３５５（△０.３）

（注）経常収益、経常利益、当期純利益、貸出金残高、預金残高におけるパーセント表示は、対前期増減率

（２）財政状態

	総 資 産	純 資 産
	百万円　(%)	百万円　(%)
2026 年３月期	５０４，６１７（△０.６）	１８，８７４（ △２.０）
2025 年３月期	５０８，１３８（△１.１）	１９，２６８（ △７.５）

（注）総資産、純資産におけるパーセント表示は、対前期増減率

（３）諸比率

	自 己 資 本 比 率	不 良 債 権 比 率
	(%)	(%)
2026 年３月期	１６.２７	１１.９６
2025 年３月期	１４.３２	１２.１８

（注）１.自己資本比率（国内基準）は、信用金庫法第 89 条第１項において準用する銀行法第 14 条の２の規定に基づき、信用金庫がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当かどうかを判断するために金融庁長官が定める基準に基づき算出しております。
２.不良債権比率（金融再生法）は、総与信に占める開示不良債権の割合であります。

２．２０２７年3月期の業績予想（２０２６年4月１日～２０２７年3月３１日）

	経 常 収 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益
	百万円　(%)	百万円　(%)	百万円　(%)
2027 年３月期	7,１６５（△１２.１）	９３３（４４.０）	８９５（9.6）

（注）経常収益、経常利益、当期純利益におけるパーセント表示は、対前期増減率

2026年3月期決算の概況

1.総括

○ 損益は次の通りとなり、減収、増益となりました。

経常収益	8,157 百万円	（前期比　△1,727百万円）
経常費用	7,509 百万円	（前期比　△1,749百万円）
業務純益	△ 594 百万円	（前期比　△272百万円）
コア業務純益	1,122 百万円	（前期比　457百万円）
投信解約益除くコア業務純益	539 百万円	（前期比　△35百万円）
経常利益	647 百万円	（前期比　22百万円）
当期純利益	816 百万円	（前期比　106百万円）

○ 自己資本比率（国内基準）は、前期末比1.95ポイント上昇して16.27%となりました。

○ 金融再生法開示債権は、前期末比1,491百万円減少して21,551百万円となりました。

(1)損益の概要

（単位：百万円）

	2026年3月期			2025年3月期
		2025年3月期比	増減率	
経常収益	8,157	△ 1,727	△17.4%	9,884
経常費用	7,509	△ 1,749	△18.8%	9,259
業務純益	△ 594	△ 272	△84.5%	△ 321
コア業務純益	1,122	457	68.7%	665
投信解約益除くコア業務純益	539	△ 35	△6.2%	575
経常利益	647	22	3.5%	625
当期純利益	816	106	14.9%	709

(2)自己資本比率（国内基準）

（単位：%）

	2026年3月期		2025年3月期
		2025年3月期比	
自己資本比率	16.27	(1.95pt)	14.32

(3)金融再生法開示債権

（単位：百万円）

	2026年3月期		2025年3月期
		2025年3月期比	
金融再生法開示債権	21,551	△ 1,491	23,042
(不良債権比率)	(11.96%)	(△ 0.22pt)	(12.18%)

2.損益状況

○ 業務粗利益は、貸出金利息や預け金利息等の資金利益が増加したものの、債券売却益の減少等により、前期比225百万円減少して3,672百万円となりました。
○ 経費は、人件費が増加したこと等により、前期比47百万円増加して4,267百万円となりました。
○ 業務純益は、上記の要因により、前期比272百万円減少して△594百万円となりました。
○ 本業の収益を示すコア業務純益(投信解約益除く)は、預金利息の増加等により、前期比35百万円減少して539百万円となりました。
○ 経常利益は、金銭の信託運用益の増加等により前期比22百万円増加して647百万円となりました。
○ 当期純利益は、上記の要因に加え固定資産処分益等の特別利益の増加等により、前期比106百万円増加して816百万円となりました。

(単位:百万円)

	2026年3月期	2025年3月期比	2025年3月期
業務粗利益	3,672	△ 225	3,897
(除く国債等債券損益)	5,389	504	4,885
資金利益	5,034	522	4,512
役務取引等利益	373	△ 90	463
その他業務利益	△ 1,734	△ 657	△ 1,077
うち国債等債券損益	△ 1,716	△ 729	△ 987
経費 (除く臨時処理分)	4,267	47	4,219
うち人件費	2,187	17	2,170
うち物件費	1,916	△ 2	1,919
一般貸倒引当金繰入額 ①	－	－	－
業務純益	△ 594	△ 272	△ 321
コア業務純益 (注1)	1,122	457	665
投信解約益除くコア業務純益	539	△ 35	575
臨時損益	1,242	294	947
うち株式関係損益	△ 71	△ 68	△ 2
うち不良債権処理額 ②(注2)	71	△ 140	212
うち貸倒引当金戻入益 ③(注2)	1,010	88	921
うち償却債権取立益 ④	225	75	149
経常利益	647	22	625
特別損益	32	62	△ 29
税引前当期純利益	680	84	595
法人税、住民税及び事業税	7	0	8
法人税等調整額	△ 143	△ 21	△ 122
当期純利益	816	106	709

(実質不良債権処理額) ①+②-③-④	△ 1,164	△ 304	△ 859

(注) 1.コア業務純益＝業務純益＋一般貸倒引当金繰入額－国債等債券損益
2.2025年3月期および2026年3月期は、一般貸倒引当金繰入額と個別貸倒引当金繰入額の合計額超過となりましたので、取崩超過額を「臨時損益」の貸倒引当金戻入益に計上しております。

3.預金・貸出金等

○ 貸出金は、事業性融資と住宅ローン等の個人向け融資が減少したこと等により、前期末比8,858百万円減少して179,051百万円となりました。
○ 預金は、法人預金が増加したものの個人預金が減少したこと等により、前期末比3,126百万円減少して482,228百万円となりました。
○ 預り資産は、国債が前期末比1,355百万円増加して7,947百万円となりました。また、投資信託は前期末比997百万円増加して6,203百万円となり、保険は前期末比1,258百万円減少して19,587百万円となりました。

(1)預金・貸出金 (末残)

(単位:百万円)

	2026年3月末		2025年3月末
		2025年3月末比	
貸出金	179,051	△ 8,858	187,909
うち個人ローン	45,277	△ 2,509	47,786
うち住宅ローン	39,559	△ 2,280	41,840
預金	482,228	△ 3,126	485,355
うち個人預金	375,691	△ 4,536	380,228
うち法人預金	106,536	1,410	105,126

(2)預り資産 (末残)

(単位:百万円)

	2026年3月末		2025年3月末
		2025年3月末比	
国債	7,947	1,355	6,592
投資信託	6,203	997	5,205
保険	19,587	△ 1,258	20,845

4.有価証券の評価損益

○ その他有価証券の評価損益は、前期末比1,126百万円減少して7,144百万円の評価損となりました。

評価損益(その他有価証券)

(単位:百万円)

	2026年3月末		2025年3月末
		2025年3月末比	
合計	△ 7,144	△ 1,126	△ 6,018
株式	5	△ 1	6
国債	−	0	−
地方債	△ 4,586	△ 1,228	△ 3,357
社債	△ 1,958	△ 585	△ 1,373
その他	△ 605	688	△ 1,293

評価損益(満期保有目的の債券)

(単位:百万円)

	2026年3月末		2025年3月末
		2025年3月末比	
合計	△ 5,858	△ 1,859	△ 3,998
国債	△ 5,541	△ 1,746	△ 3,795
地方債	△ 162	△ 63	△ 99
社債	△ 153	△ 50	△ 103

5.自己資本比率（国内基準）

○ 自己資本の額は、前期末比1,104百万円増加して23,415百万円となりました。
リスクアセットは、前期末比11,871百万円減少して143,911百万円となりました。
この結果、自己資本比率は前期末比1.95ポイント上昇して16.27%となりました。

2026年3月末の開示内容(国内基準)　（単位：百万円）

		2026年3月末	2025年3月末比	2025年3月末
自己資本の額	a	23,415	1,104	22,311
リスクアセット	b	143,911	△ 11,871	155,783
自己資本比率	a/b	16.27%	(1.95pt)	14.32%

6.開示不良債権

○ 金融再生法開示債権は、前期末比1,491百万円減少して21,551百万円となりました。
また、総与信に占める割合は、前期末比0.22ポイント低下して11.96%となりました。
○ 保全率は、前期末比0.84ポイント低下して81.49%となりました。

(1)金融再生法開示債権

（単位：百万円）

		2026年3月末	2025年3月末比	2025年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権		4,071	907	3,163
危険債権		17,437	△ 2,273	19,710
要管理債権		42	△ 125	168
金融再生法開示債権	a	21,551	△ 1,491	23,042
総与信残高	b	180,159	△ 8,947	189,107
総与信残高比合計	a/b	11.96%	(△ 0.22pt)	12.18%

(2)金融再生法開示債権の保全状況

（単位：百万円）

		2026年3月末	2025年3月末比	2025年3月末
金融再生法開示債権	a	21,551	△ 1,491	23,042
保全額	b	17,563	△ 1,409	18,973
貸倒引当金		3,843	△ 1,367	5,211
担保・保証		13,719	△ 42	13,761
保全率	b/a	81.49%	(△ 0.84pt)	82.33%

(注) 貸倒引当金は個別貸倒引当金及び要管理債権に対して計上している一般貸倒引当金の合計額です。

7.2027年3月期業績予想

○ 損益は次の通り、減収、増益を見込んでおります。

経常収益	7,165 百万円	（前期比	△991百万円）
経常費用	6,232 百万円	（前期比	△1,277百万円）
業務純益	585 百万円	（前期比	1,179百万円）
コア業務純益	754 百万円	（前期比	△368百万円）
投信解約益除くコア業務純益	631 百万円	（前期比	91百万円）
経常利益	933 百万円	（前期比	285百万円）
当期純利益	895 百万円	（前期比	78百万円）

通期（2026年4月1日～2027年3月31日）　（単位：百万円）

	2027年3月期		2026年3月期
		2026年3月期比	
経常収益	7,165	△ 991	8,157
経常費用	6,232	△ 1,277	7,509
業務純益	585	1,179	△ 594
コア業務純益	754	△ 368	1,122
投信解約益除くコア業務純益	631	91	539
経常利益	933	285	647
当期純利益	895	78	816